

(3) 水の害をふせぐ

塩川町は、会津盆地のまん中にあり、むかしから「水上交通の中心」としてさかえたところでした。

今も西に濁川・田付川、まん中に姥堂川・大塩川がそれぞれ北から流れて来て、町の南で猪苗代湖から流れてくる日橋川でひとつになります。



水害の写真

大雨になると川があふれ、家や田畑にひがいを出したことが何回かありました。平成10年8月12日には、住まいなど約200戸がゆ



か下やゆかの上まで水につかったほか、田畑や道路、公園などに大きなひがいが出ました。ひがいがくは約9830万円にのぼり、平成7年の8月3日の大雨によるひがいに次ぐものでした。

8・12水害によるひ害